

## 令和5年度 海外から招聘した教員の活動実績一覧

期 間	所属機関（派遣元）	招聘期間中の活動実績
2023.4.1～5.20	トゥルガウ教育大学（スイス連邦）	イルゼ・アイヒンガーの想起の文学と自伝の可能性について、共同研究を行った。また、イルゼ・アイヒンガーをはじめとする戦後ドイツ文学、オーストリア文学、スイス文学に関する議論を行うとともに、2023年4月22日（土）に学習院大学にてコロキウム「イルゼ・アイヒンガー文学の／における翻訳可能性」を実施した。
2023.6.30～8.31	東海大學（台湾）	自律・自立を促す教育について、共同で研究を行った。研究課題は「『自律学習と言葉の学習』のための教育と教師の役割」である。期間中、学内で開催している地域在住外国人向けの日本語教室を見学していただき、内容・方法について協議をした。また、2023年7月26日（水）には「自律学習を目指した教育と教師の役割－台湾の大学の教育実践から－」というタイトルで講演会（日本語日本文学科主催）を行い、学内外の専門家と意見交換を行った。
2023.10.30～11.28	University of Otago（ニュージーランド）	学部の教員と共同研究プロジェクト(Shifts in Language Education: The Impact of Digital Technology)に取り組み、学科に貢献した。また、公開講演（タイトル: 言語教育における人工知能）を行った。